

第41回岡山県がん診療連携協議会議事要旨(案)

1 日時 平成30年12月10日(月) 18:00~19:15

2 場所 岡山大学病院 管理棟3階 大会議室

3 出席者 55名

4 報告事項

(1) 岡山県

○以下報告があった。

- ・平成30年度妊孕性温存環境整備研修について、現在5施設が実施しており、291名の受講があった。次年度以降も継続予定であり、がん診療連携推進病院での実施を検討している。
- ・「がん教育」外部講師派遣について、順調に件数が増加している。今後も実状に合わせ、派遣システムに修正を加えながら進めていきたい。
- ・がん診療連携拠点病院等の指定更新及び現況報告について、現在国への申請を行ったところであり、1~2月に検討会が実施される予定。今後の予定について情報が入り次第お知らせさせていただく。
- ・岡山県がん患者支援情報提供サイト 岡山がんサポート情報について、来年9月までにホームページの移設を行う。移設に伴い、変更が必要な箇所があれば年内を目処にご連絡いただきたい。

(2) 事務局・岡山大学病院

○事務局から、平成30年度各拠点病院から情報提供があった研修会・講演会について報告があり、今後も研修会・講演会の情報があれば事務局へ情報提供いただきたいとの依頼があった。

○事務局から、岡山県がん診療連携協議会 HP 閲覧統計 (H30年度) について報告があった。

○岡山大学病院から、7月31日に開催されたがん診療提供体制のあり方に関する検討会でのがん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しに関するワーキンググループの報告書について情報提供があった。

I がん診療連携拠点病院等の指定について

- ・2次医療圏に1カ所の原則について、がんの医療圏を2次医療圏とは異なる圏域に設定することが可能となり、今後はがん医療圏に地域拠点病院を1カ所整備することを原則とすべきである。
- ・診療機能による地域拠点病院の類型について、診療機能に応じて、地域がん診療連携拠点病院の他、(高度型)(特例型)の3類型に分類すべきである。また(高度型)は当該医療圏に1カ所に限るべきである。

II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

- ・キャンサーボードの機能強化について、開催にあたっては社会的問題についても検討し、専門的多職種の参加を必要に応じて求めることとすべきである。さらに、関係者間で共有できるように、記録することを求めるべきである。
- ・視覚聴覚障害者等への支援について、検討すべきではないか。
- ・災害時の連携について、検討すべきではないか。
 - 金澤議長(岡山大学病院長)より、西日本豪雨の際に、がん患者の輸送の要請は受けておらず、実際に被災した病院の診療についても、特に情報は無かった。放射線治療や画像診断ができなくなったとの情報は無かったと報告があった。
 - 田端委員(岡山大学病院)より、がん化学療法を受けている患者の診療記録が無くなってしまふことが問題である。診療記録の保管方法やどこで継続して治療を受けられるかとの情報をどのように提供するか、議論する必要があるとの発言があった。
- ・緩和ケアについて、医療心理に携わる者として、公認心理士を配置するのが望ましいとすべきである。
- ・PDCA サイクルの確保について、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会が行うQI研究に参加し、その結果をフィードバックすることで、がん診療の質の向上に努めることとすべきである。

○引き続き、第3期がん対策推進基本計画の中間評価について情報提供があった。

○岡山赤十字病院から、がん診療連携拠点病院等の指定更新について、カバー率が要件を満たしていないが、どのような見込みになるかと質問があった。

→岡山県から、「院内がん登録数、手術件数、化学療法延べ人数、放射線療法件数またはカバー率を概ね満たすこと」が要件となっているため、カバー率を満たさないことで指定を受けられないことはないとの回答があった。

(3) 作業部会 等

① 地域連携パス部会

○平成30年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績（H30.7～H30.11集計分）について報告があった。

○岡山赤十字病院から、岡山赤十字病院の実績数がゼロになっているが、実績はあるので抜けているのではとの指摘があった。

② がん相談支援部会

○9月3日に開催された第37回がん相談支援実務者会議について報告があった。

- ・広報活動について、「岡山市 保健所フェスタ」「勝央町 金時祭」「和気町 健康福祉フェア」「備前市 市民ふれあい福祉まつり」「玉野市 元気が1番！まつり」「岡山市ふれあいセンターまつり」に参加した。岡山県立図書館でのパネル展示、岡山県がん相談支援センターパネル展示を実施した。
- ・がん相談員研修会について、第2回を11/4に実施、第3回を3/9に実施予定。
- ・ピアサポーター研修について、第1回を8/18に実施、第2回を3/16に実施予定。岡山大学病院にて、がん体験者によるピアサポートを開始。
- ・PDCA サイクル相互評価について、全体の進め方、スケジュール、報告書様式について協議した。初めに岡山大学病院が国がんの高山先生に評価を受け、その後の施設も順調に進んでいる。評価に参加いただいた病院管理者及び関係者に謝辞が述べられた。

○引き続き、岡山県がん診療連携拠点病院第12回公開講座について広報の依頼があった。

○引き続き、12月4日に開催された第11回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会について報告があった。

- ・がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しについて、病院一体で初診時からがん相談支援センターの周知をしていくことが確認された。がんゲノム、希少がん、AYA世代、妊孕性について新しく盛り込まれた。
- ・新指針に基づいたPDCAチェックリストが示された。次回のがん相談支援部会で広報予定。
- ・「がん情報ギフト」を県立図書館に寄贈する取り組みについて、岡山県では津山市立図書館、岡山県立図書館に寄贈された。

○患者会から、がん相談支援センターの周知について、がんの告知を受けたときに、主治医もしくは看護師からがん相談支援センターのパンフレットを渡してもらうのが一番伝わるのではないかと意見が述べられた。

→岡山大学病院から、初診時に配布できるよう整備していくと回答があった。

○岡山大学病院から、PDCA サイクル相互評価について、何らかの形で結果をまとめていくと報告があった。

③ 緩和ケア部会

○8月27日に開催された第21回緩和ケア実務者会議について報告があった。

- ・平成29年度末での岡山県緩和ケア研修会修了者数2,183名
- ・緩和ケア研修会修了者の氏名について、医師以外の医療従事者は公開しないと説明があった。
- ・緩和ケア研修会について、岡山済生会総合病院から実施報告があった。
- ・がん拠点整備指針の緩和ケアに関する変更点について説明があった。

④ がん看護部会

○8月24日に開催された第50回がん看護部会について報告があった。

- ・岡山県がん看護セミナー2018の打ち合わせを行った。
- ・来年度からのがん看護部会の活動について協議した。

○患者会から、岡山県内の看護外来の状況を教えてほしいと依頼があった。

→岡山大学病院から、看護外来を実施する施設の確認があった。実施施設は徐々に増えてきており、実際に受けた方からも好評だと説明があった。

⑤ 研修教育部会

○9月3日に開催された第15回研修教育部会、及び9月9日に開催された「平成30年度 岡山県がん診療連携協議会主催 がん化学療法チーム研修」について報告があった。

- ・がん化学療法チーム研修について、研修内容は、地域でがん化学療法に関する研修会を開催するための方策の検討で、4施設の参加があった。研修を受講した施設には、各地域で研修会を開催してもらうことが課題となっている。
- ・学校におけるがん教育について、講師への依頼方法について整備していく必要がある。

⑥ がん登録部会

○岡山県院内がん登録報告書2015年版のデータ岡山県がん診療連携協議会 HP に掲載した。来年はUICC第7版のデータの集計を考えており、次回のがん登録部会で協議する予定であると報告があった。

⑦ がん薬剤師部会

○10月20日に開催されたがん薬物療法セミナーについて報告があった。

- ・県北部の参加者を考慮し、津山での開催とした。参加者は25名であった。
- ・保険薬局薬剤師からはより詳細な説明を求める声もあり、難易度を下げること検討している。
- ・次回は春先に県北部での開催を予定しており、副作用についての内容で企画している。
- ・次回のがん薬剤師部会は2月頃開催予定。

⑧ 歯科部会

○当部会は発足したばかりであり、特に報告事項はないとの説明があった。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院

特になし

(5) その他

特になし

5 協議事項

特になし

6 その他

- ・がん拠点病院等の医療従事者を対象としたアンケート調査について

○がん対策推進総合研究事業として、精神障害者のがんの診断、治療およびケアにおける課題とその改善方法を明らかにするための質的調査の依頼があった。調査の詳細について、説明があった。各施設の対象者にアンケートに回答いただくため、12月28日までに事前調査票に回答いただくよう協力依頼があった。

○岡山済生会総合病院から、緩和ケア医の人数について、緩和ケアチームに所属する医師以外も人数に含めて良いかと質問があった。

→人数に含めるよう回答があった。

引き続き、がん治療認定医と緩和ケア医を兼ねている場合にどうするか質問があった。

→主体となる方で答えるよう回答があった。

7 次回開催日

- ・4月頃開催予定、日程は調整が付き次第、連絡。